

自己評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	取り組み状況
環境・ 体制整備	利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切であるか		○		法令を順守したスペースは確保しており、今後も広さの変更は出来ないのですが、それでも最適かと問われると”はい”とは言い難いです
	職員の配置数は適切であるか	○			法令で必要とされる配置数に加え、児童指導員又は保育士を1名以上配置(常勤換算による算定)はしています
	常時見守り等が必要な子どもに対する対応等を想定して、通常基準より多い指導員数を配置する等の配慮がなされているか	○			常時支援が必要な子どもに対応する職員を、基準を超えた配置人数であっても勤務してもらおう等配慮しています
	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	入口の階段が2段(手すり無し)・プレイルームへの階段が3段(手すり有)・トイレの段差が2段(手すり有)あります。構造的に段差解消は難しいため、バリアを逆に活かし、危険回避の学びの場と捉え、もちろん安全最優先ですが職員の行動支援によって、バリアフリー(段差を意識し自ら安全行動をとれる)の取組を実践しております
	指導室内は個々の子どもの状態に配慮した環境調整が行われているか	○			個々の子どもの状態に合わせて環境調整を行い、集中して課題や活動に取り組めるように配慮しております。
	事業所内の安全対策が十分に取られているか		○		教材や遊具、設備などに危険や危険の恐れが認められれば、直ちに改善し、ヒヤリハット報告等で、情報共有を図り、適宜子どもの安全に配慮しております
	事業所内は常に衛生的な状態に保たれているか	○			毎日の清掃箇所や担当を決め、清掃・消毒を実施しております
業務改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			日毎・月毎で職員参加のミーティングを実施しています。毎月施設内全体での目標を確認する時間を設け、各自振り返りを実施しています。
	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者様へ満足度調査アンケートを実施し、業務改善に繋げています。
	自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		事業所内に掲示する方法で公開しています。31年度内にホームページでの公開を検討しています。
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による評価依頼を依頼している途中です。
	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			受入れ時より職員教育を実施しています。また、個別スキルに応じテーマを絞り事業所内研修を年5回以上実施。体系的に必要なスキルの獲得を目指しています。別に外部研修も定期的に通っています。
	事業所内で療育の質を高める体制を整えているか	○			スーパーバイザーによる定期的指導と、職員各自が療育の知識や技術の質の向上が図れるように学習機会を設けるなど体制整備に努めています。
適切な支援 の提供	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			計画期間毎に達成度評価を実施、未達成の原因分析と面談によるご利用者様ニーズの把握に努めています。標準化されたアセスメントツールは一部分ですが機能や行動について用いています。身体構造的な心理的な状態評価は医師や心理士の評価をご家族様より預かり用いています。これらを基に計画(案)の作成をします。その後、職員会議の場で計画(案)の遂行が可能か否かの検討を経て、計画本案を作成しご家族様から承認を頂くプロセスをとっております。
	子どもの状態を把握するため、また支援に対する進捗を把握するために、標準化されたアセスメントツールを継続的に使用しているか		○		
	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員各自でプログラムの原案を出し、エビデンスに基づくプログラムになるようミーティングの場で検討し決定をしています。
	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用者の興味関心に合わせて、自ら進んで参加できるよう、また、自立(自律)の学びに繋がりが成功体験で終われる様にプログラムを企画しています。但し、表面上は変化が見えにくいかもかもしれません。ご要望に応じ個別にプログラムの狙いや効果をご説明申し上げます。
	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントを基に、優先順位をつけて個別の自立支援に繋がるようにまた、さまざまな課題にも対応できる計画となるように日々検討を重ねています。もちろん、”たいよう”で今すぐ実行可能な範囲とはなりますが、今の力を100%つかって、ご利用者ご家族様より通わせてよかったと評価いただけるように、課題等の設定についてはきめ細やかであることを目標としています。
	ガイドラインの総則の基本活動(自立支援と日常生活の充実のための活動・創作活動・地域交流の機会の提供・余暇の提供)を複数組み合わせた視点から、計画的に支援を行っているか	○			
	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			始業前にミーティングにて当日の支援について確認しています。
	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援終了後に当日の振り返りをし、客観的な事実の記録をとる事で、支援の評価を行い、改善につなげています。また、当日に出動していない職員への伝達特記事項としても役立てています。

自己評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	取り組み状況
関係機関 や 保護者との 連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの発達障害の状況に精通した最もふさわしい者が参画できるようになっているか	<input type="radio"/>			利用者の状況を把握している職員或いは児童発達支援管理責任者が必ず出席し、必要な情報を事業所に伝達しています。
	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	<input type="radio"/>			
	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻等の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	<input type="radio"/>			アセスメントの機会であり、情報交換の場として、支援内容の縦の継続性や事業所間での横の統一性を図るために必要に応じて連携しています。
	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内等の情報を提供する等しているか	<input type="radio"/>			
	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		<input type="radio"/>		重要事項説明書に記載された医療機関とは連絡をとることが出来るようには努めています。
	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	<input type="radio"/>			外部専門機関の研修や日常支援についての評価助言を受けられるように法人として仕組みを整えています。
	放課後児童クラブ、児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	<input type="radio"/>			児童クラブとは交流機会がないですが、児童館や公園での活動、地域参加の活動機会は設けております。
	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	<input type="radio"/>			特段の事情が無い場合を除き、積極的に参加するよう努めています。
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	<input type="radio"/>			気になることがある際には、送迎時等に直接或いは連絡帳や電話等により情報交換を図るようにしています。ご家族様へは利用者の支援方法も含めた情報提供等実施しております。また、利用者の状況や課題についての共通理解にも努めています。但し、ペアレントトレーニングについては、後方支援に留まっております。
保護者の子どもへの対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		<input type="radio"/>			
保護者への 説明責任 等	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	<input type="radio"/>			運営規定、利用者負担等について、契約前段階にご説明申し上げると共に、事業所内にて重要事項説明書を閲覧可能です。支援内容については、個別支援計画の作成に当たり、面談時に説明すると共に、ご利用日の支援終了後等に状況の説明に努めております。
	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	<input type="radio"/>			
	保護者からの相談対応の状況に応じて、適切な他機関・他サービスにリファラーする、もしくは情報提供等を行っている。	<input type="radio"/>			ご家族様からの相談や、療育上必要がある場合には、都度相談をお受けしております。また、相談支援事業所を中心に各関係機関・専門機関との連携を図り、協働して課題解決に向けた取組を実施しております。家族会については、平成30年度に、公民館にて発表会を開催し、30名を超える方にご臨席を賜り、終了後に家族会の前身になればと、懇親会を企画し、10名程のご家族様がご相談されておりました。来年度も、同様の会を企画する予定です。
	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		<input type="radio"/>		
	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	<input type="radio"/>			1年に1回以上の頻度でご家族様アンケートを実施。法人に苦情解決者を選任する等、苦情対応体制を図っております。また、頂いたご意見には手順を定め速やかかつ適切な対応に努めております。
	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	<input type="radio"/>			今年度は、5回のブログと2回のお便りを配布。活動概要や行事予定につきましては、毎月の配布物で。防災連絡体制等につきましては、ガイドラインに沿って、消防防災計画に則り情報を発信しております。
	個人情報に十分注意しているか		<input type="radio"/>		重要書類につきましては鍵付きキャビネットに保管しています。個人情報保護につきましては職員研修を定期的実施しております。個人情報にアクセス可能な端末にはセキュリティーを設けるなどの対応を実施しております。とは言うものの、覚書やメモ等の管理、ブログ・配布物の写真、外出活動に利用する名札等を詳細検討した場合、悪意のあるハッカーから情報を守る事はハードルが高いと感じています。
	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	<input type="radio"/>			ご利用者様・ご家族様の心身状況に寄り添って、意思疎通や、情報伝達等で必要となる合理的配慮に努めています。
	サービス提供中の子どもの様子を保護者が把握できるよう努めているか	<input type="radio"/>			ご希望があれば、いつでも療育中の様子が見学可能です。
事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業所運営を図っているか		<input type="radio"/>		地域で利用者の自立支援につながりそうな行事があれば、地域共生や参加を目的に、年間行事計画に企画し運営に努めてはおります。	
非常時等 の 対応力	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		<input type="radio"/>		
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	<input type="radio"/>			マニュアルを策定し、必要期間ごとに研修・訓練を実施しております。また、各マニュアルは事業所にて閲覧が可能です。
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	<input type="radio"/>			
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画にも記載しているか	<input type="radio"/>			身体拘束の実施に当たり、3原則（切迫性・非代替性・一時性）を十分に検討し、チームとして対応策を検討。また、ご家族様に十分な説明と同意をいただき、実施に当たっては、予め個別支援計画書に明記し承認をいただきます。実際に対応した案件ごとに記録を残しています
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	<input type="radio"/>			契約時及びアレルギー症状が現れた際に、ご家族様よりドクターの指示書をいただき、指示書に沿って対応しています。
	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	<input type="radio"/>			認知されたインシデントに付き、再発防止に向け職員で話し合い、原因や対応策を検討し記録として保存しております。